



## 2023年度 東北地理学会 春季学術大会 プログラム

1. 期 日 2023年5月20日(土)～21日(日)
2. 会 場 東北大学大学院 環境科学研究科 本館(2～4階)  
〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
3. 日 程

	第一会場			第二会場		
	時刻		発表番号	時刻		発表番号
5月20日(土)	09:40～11:50	研究発表(人文①)	111～115	10:00～11:50	研究発表(自然①)	121～124
	11:50～13:10	昼休み		11:50～13:10	昼休み	
	12:00～13:00	評議員会				
	13:10～16:10	研究発表(人文②)	211～216	13:10～16:10	研究発表(自然②)	221～226
	16:30～17:30	総会				
	18:00～20:00	懇親会 ※場所は下記参照				
5月21日(日)	09:20～11:50	研究発表(共通・人文①)	311～316			
	11:50～13:10	昼休み				
	13:10～16:40	研究発表(共通・人文②)	411～418	14:00～17:00	「地理総合」ワークショップ in宮城	

※『「地理総合」ワークショップ in 宮城』は、高校地歴科・公民科教員を対象に開催します。  
参加には、事前の申し込みが必要です。詳しくは、学会webページをご覧ください。

4. 懇親会  
日 時 5月20日(土) 18:00～20:00  
会 場 Buddy's Table (青葉山みどり厚生会館 地下鉄「青葉山駅」南1出口すぐ)  
会 費 4,000円(学生・院生 2,000円)  
※ 当日、大会受付または懇親会受付にて、現金でお支払いください。

5. 交 通 仙台市営地下鉄 東西線 青葉山駅 南1出口 徒歩約3分  
(仙台駅から乗車9分, 250円)  
アクセス方法(環境科学研究科webページ)  
<http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/access.html>

6. 宿 泊 仙台市内のホテル等をご利用ください。
7. 昼 食 大学構内のコンビニ等が利用可能です。
8. その他 新型コロナウイルス感染防止に関する注意事項については別途お知らせします。  
詳しくは、学会webページをご覧ください。

※研究発表 L：発表時間20分＋質疑時間8分 S：発表時間12分＋質疑時間8分 \*：口頭発表者

① 5月20日(土) 午前

第一会場(人文分野) 発表：09:40～11:50

発表番号	開始時刻	発表時間	ポスター	座長	発表者(所属)	題目
111	9:40	S 12分			柳津英敬(東北大・研)	仙台市アーケード街における来街者の量的・質的变化
112	10:00	S 12分			阿部修治*(東北農政局)・岩動志乃夫(東北学院大)	仙台市における公衆浴場の立地変遷と跡地利用の特性
113	10:20	L 20分			永田将真*(東北大・院)・埴淵知哉(京都大)・中谷友樹(東北大)	スタートアップ企業の成長に関連する地域的要因の研究
114	10:50	L 20分			岩谷恭弥(立正大・院)	人口減少地域におけるバス交通サービスの変化と地域的要因: 京都エリアの若狭湾沿岸地域を事例として
115	11:20	L 20分			櫛引素夫(青森大)	北陸新幹線・敦賀延伸の地域課題整理

第二会場(自然分野) 発表：10:00～11:50

発表番号	開始時刻	発表時間	ポスター	座長	発表者(所属)	題目
121	10:00	L 20分			大貫靖浩*・鳥山淳平・伊藤江利子(森林総研)・Samkol Keth・Bora Tith(カンボジア森林野生生物開発研究所)	カンボジアの森林植生分布に影響を与える土壌特性
122	10:30	L 20分			西城潔(宮城教育大)	山地帯の景観に認められる過去の山野利用の痕跡 — 船形連峰泉ヶ岳の例 —
123	11:00	L 20分			北村繁(新潟大)	チャルチュアパ遺跡から出土した土器に含まれるテフラ粒子のWDS分析(予報)
124	11:30	S 12分			阿子島功(元山形大)	ペルー、ナスカ台地の地形分類図(2) — 画像処理による

② 5月20日(土) 午後

第一会場(人文分野) 発表：13:10～16:10

発表番号	開始時刻	発表時間	ポスター	座長	発表者(所属)	題目
211	13:10	L 20分			松浦雄哉*(東北大・院)・関根良平(東北大)	日本における2010年代後半の市町村別農業産出額の変化とその要因
212	13:40	L 20分			佐々木達(法政大)・木戸口智明(東北大・院)	東北地方における農地集積と構造再編の地域性
213	14:10	L 20分			高橋裕太(高崎経済大附属高)	岩手県葛巻町における酪農生産の存続条件
214	14:40	L 20分			三宅良尚(農林水産政策研)	陸前丘陵における地域水田経営集積の一展開
215	15:10	L 20分			木戸口智明(東北大・院)	農業法人の経営展開にみる水田農業の再編実態 — 大崎市三本木地域を事例に —
216	15:40	L 20分			庄子元(岩手大)	地域営農組織の従事者雇用と農産物販売のネットワーク — 岐阜県多治見市を対象に —

第二会場(自然分野) 発表：13:10～16:10

発表番号	開始時刻	発表時間	ポスター	座長	発表者(所属)	題目
221	13:10	L 20分			古谷尊彦((株)日さく)	山地流域の地形発達過程 — 東頸城丘陵洪海川・鯖石川上流域の事例
222	13:40	L 20分	有		小松原琢(産総研)	後期更新世における木津川の河川争奪
223	14:10	L 20分			吉木岳哉(岩手県立大)	三陸海岸の砂浜分布
224	14:40	L 20分			小元久仁夫(元日本大)	慶良間諸島国立公園内、慶留間島北部の礫岩質ビーチロックの形成年代
225	15:10	L 20分			高橋信人(宮城大)	全球の中・高緯度地域における前線帯の分布とその年々変動
226	15:40	L 20分			澤田康徳*(東京学芸大)・平塚雅人(常総市)	常総市の広範な部署における大雨対策認識の地域的特徴

③ 5月21日(日) 午前

第一会場(共通・人文分野) 発表: 09:20~11:50

発表番号	開始時刻	発表時間	ポスター	座長	発表者(所属)	題目
311	9:20	S 12分			三原昌巳(昭和女子大)	神奈川県における医療施設の立地と一次医療の住民選好との関係性分析
312	9:40	S 12分			山田浩久(山形大)	医療観光の可能性と今後の課題
313	10:00	S 12分			稲葉雅子(東北大・研)	水産加工業におけるオープンファクトリーの可能性
314	10:20	L 20分			西原純(元静岡大)	旧市町村単位の行政組織の再編からみた東北地方における平成の大合併の帰趨
315	10:50	L 20分			松山薫(東北公益文科大)	公立農民道場の設置とその附属施設としての日輪兵舎の建設
316	11:20	L 20分			杉浦直(元岩手大)	地理学におけるオーセンティシティ論の特質と意義

④ 5月21日(日) 午後

第一会場(共通・人文分野) 発表: 13:10~16:40

発表番号	開始時刻	発表時間	ポスター	座長	発表者(所属)	題目
411	13:10	L 20分			吉田剛(宮城教育大)	幼小中高一貫地理教育カリキュラムにおけるウェルビーイング
412	13:40	L 20分			桜井愛子(東洋英和女学院大・東北大)	社会的条件から考える災害伝承と学校防災 ～ルーマニアの事例から考える～
413	14:10	L 20分			駒木野智寛(北海道大)	先史時代の北海道における人骨出土遺跡の地理情報
414	14:40	S 12分			木村和雄(沖縄高専)	座間味島安護の浦における集落変遷と津波災害
415	15:00	S 12分			初澤敏生(福島大)	関東大震災が地域工業に与えた影響 — 東京市本所区を例に —
416	15:20	S 12分			張紫琳*・トセイコウ(熊本大・院)・山本耕三(熊本大)	東日本大震災以降の石巻市中心市街地における土地・建物利用変化
417	15:40	L 20分			岩船昌起(鹿児島大)	東日本大震災での災害記録に基づく個別避難計画の策定 — 奄美大島の難病患者を対象に —
418	16:10	L 20分			中村哲也*・Steven Lloyd(共栄大)・丸山敦史(千葉大)・増田聡(東北大)	東日本大震災における復興課題と教訓に関する住民評価